

# 目次

森鷗外「日本文學の新趨勢」について——發見された獨文「東漸雜誌」より——	小堀桂一郎	1
『竹取物語』登場人物「性格論」——五人の貴公子を中心に——	井上 英明	17
近代日本文學に表れた家庭像	和田 正美	31
英米エンタテインメント文學の文体と翻訳実践例	矢野浩三郎	49
《生命》論への第一章(2)	山下 善明	65
明治以後の「赤い糸」	古田島洋介	79
陽明文庫蔵三十六人集(十冊本)(10・68)について——翻刻「赤人集」付載——	島田 良二	89
カプリエル・マルセルの思想(4)	小河 織衣	190(1)
参与の具体的弁証法	佐佐木茂美	178(13)
『トリストラン物語』と『ポンテウウ伯の娘』——ある学会報告から——	万 惠洲	168(23)
漢語欧化現象剖析	氏家 洋子	156(35)
心的状況の表出と日本社会——心的な「である」から事態を動かす「する」へ——	佐々木 滋	144(47)
ふたとおりの真実・文學とM f S文書	アンリールイ・ドラ・グランジュ	132(59)
グスタフ・マラー	丸山 正義(訳)	
Australian Literary Images of Japan: A Japanese Perspective	加藤めぐみ	122(69)
研究成果及び活動一覽(平成七年一月〜十二月)		110(81)